



校訓「至誠」

母校 元小

学 校 だ よ り
令和 7 年 1 0 月
川口市立元郷小学校
児童数： 4 3 2 名



元郷小HP

レジリエンス

校長 根本 広徳

ようやく秋の涼しい風が感じられるようになってきました。例年にない記録的な猛暑の中で過ごしてきたので、この季節の変わり目は体に負担がかかると思います。子供たちの健康面を注視していきますが、保護者の方々、地域の方々もどうぞ自愛ください。

先日、9月18日、19日で、5年生は大貫海浜学園での宿泊学習がありました。心配された天候でしたが、ちょうど雨天の合間の恵まれた天候で活動することができました。清々しい海岸ハイキング、黄金アジフライなどの海の幸の食事、思いが一つになったキャンドルファイヤー・レク、夢中になったビーチコーミング・サンドアート等々、何よりも友達と過ごした時間からたくさんのことを学んだと思います。

友達と過ごす中で、友達のいろいろな面を見るとともに、自分のよいところ、直していきたいところを見つめる時間にもなりました。この自分自身を見つめることが、これから生きていく上でとても大切な時間となります。自分を知る、特に、自分のよいところを知ることが、将来、困難な状況に陥った時に立ち上がることを助けてくれる力（レジリエンス）を培っていくことにつながります。



9月10日～9月16日は自殺予防週間ということで、本校ホームページにも、あべ俊子文部科学大臣のメッセージ「～不安や悩みがあったら話してみよう～」を載せ、各学年でも子供の発達段階に合った話を担任からしました。小中高生の自殺者数は近年増加傾向が続き、令和6年度は統計開始以来過去最多となり、深刻な状況が続いています。小学生の自殺の原因（2009年～2021年）は、①家族からのしつけ・叱責 ②親子関係の不和 ③その他学友との不和 ④学業不振 ⑤学校問題その他 と続きます。これらを踏まえて予防のためにできることは、「死にたい」の前の「生きづらさ」を子供と一緒に考えていくことです。いのちを大切に思えない状況や気持ちを理解し、共感し、その子の「生きづらさ」と向き合うことができるように、SOSを受け止め、相談できるようにしていくことです。決して、頭ごなしに決めつけてジャッジしたり、アドバイスしたりせず、ありのままに受け止め、悩みを理解し、感情の共有をしていくことが大切です。

困難な状況に陥った時に立ち上がっていくことを助けてくれる力（レジリエンス）をつけていくために、子供たちが、自分のよいところ、好きなこと、大切な人・こと・もの、希望をひとつでも多くもつことができる環境を私たちみんなで創っていきましょう。